全國商業會議所聯合會號

京城新報

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 一枚金二錢 一ヶ月前金三十錢 三ヶ月前金九十錢 六ヶ月前金一圓八十錢 郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊
廣告料金 五號活字十七字詰一行一回金五十錢 特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久崇一郎
發行所 京城 京城新報社 電話六三番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番

雜錄

史外通信（上）

於大阪 青柳南冥

▽英雄の銅像……孝義の碑

覇圖の春光を追ふて京阪の間に客となる予茲月餘京洛の風光今一年の佳境に際す此間徐ろに征鞍を回らす亦人生多少の快事也。

一夕微醉の歩を中之島公園に運ぶ曩太閤の銅像は園中の異彩也、太閤の銅像ありて始めて中之島公園の價値を論じ得べし而して太閤の銅像に配するに木村長門守の表忠碑を以したるは錦上更に花を添ふるの慨あり而も長門守の碑は大阪城壘崩壞の敷石を用ひて懷古の意を寓する所何者の詩人之を探びしぞ巧みに吾人をして史的感想を呼び起さしむ。

太閤を回想すれば感慨湧然として禁ずる能はず身匹夫より起つて六十餘州を平定し三百の諸侯伯を驅使すること之を掌に指すが如く朝鮮を伐ち大明を呑まんとし其事業の壯勇痛快凡庸の敢て窺知する所に非ず當時の大坂城は實に太閤勢力の精髓を集めたる處にして日本の勢力は實に此大阪に索制したりし也而かも一朝無常の嵐に太閤の天分盡くるに當つてや太閤の天下は老猾家康の窺窬する所となり石田治部の大才直江山城の英邁を以てして遂に仆す能はず三百の諸侯伯は靡然として老狸の勢に附隨せり如何に戰國弱肉強食の世とは云へ太閤の舊恩を銜へる蜂須賀の如き加藤の如き淺野の如き福島の如き其他大小の諸侯伯相集まつて太閤の寡婦孤兒を大阪に孤立の孤城に攻む秀頼愚にして天下の器にあらずとせば家康たる者之を取るに途なかりしか。

●次は西園寺内閣？ 桂内閣は條約改正事業終了後來八月を以て更迭の事に内定し居り次は西園寺内閣と決定せるものゝ如しと傳へらる

●總督專任說 來八月寺内伯の西園寺内閣組織の際は寺内伯は陸軍大臣を退き朝鮮總督專任となるべし

●新條約の經過 日獨新通商航海條約の交渉は目下進行中にて六月下旬終了す可く佛國其他の交渉は七月十五日迄に全部終了するは困難なる可く又た露國希臘白耳義は改正の必要なきを以て現條約を繼續すべし

●日英博ご論功行賞 大浦日英博覽會總裁、和田事務官長以下同博覽會に關係功勞ありたる諸氏に對する論功行賞は本月中に發表せらる由

●北海道長官の後任 河島北海道長官の後任候補に就き種々の取沙汰あるも何れも無根の風說にして地方官會議終了後地方長官中より拔擢せらるゝ筈なりと某内閣員は語れり

●新時代の讀み物 「人類の競爭は智識の競爭也」といふ理由の下に東京「實業之日本」は其臨時增刊として「最新の世界」を發行せり取つて其内容の一班を見るに悉く世界的最新智識を有せる博士專門大家の執筆せるものにて工業界、鐵道界、海運界、商業界、數學界、電氣界、衞生界、實務界其他あらゆる世界の新現象を漏れなく紹介せり一寸見ては專門的なるが如くなれど其實一般的新時代の好讀み物にして趣味實益知識兼備するものと謂ふべし敢てこれを江湖の農商工業家、官吏、教育家、學生、醫師等に薦む（紙數百七十二頁、定價金二十二錢、郵稅二錢、東京京橋區柳屋町實業之日本社發行）

◎新刊紹介

▲東京經濟雜誌（第千五百九十號） 本誌重要記事は（社說）日英條約と單一國定稅主義、電燈會社と遞相の社會政策論說 安田善次郎氏の土地狀況觀察方法、黑澤禮藏氏の米券倉庫論、東洋學人の小林博士の地方財政學を讀む、伴直之助氏の大阪臨港鐵道南北線比較等なりとす（一冊十二錢東京京橋區彌左衞門町經濟雜誌社）

▲實業之世界（第八卷第八號） 三宅雪嶺博士の「利巧らしき馬鹿者と馬鹿らしき利巧者」鶴原定吉氏の「三宅雄二郎君の學生時代」澤柳博士の「寒心す可き現代青年の風潮」鈴木天眼氏の「獨逸勃興の原因」等日本誌幾多の有益記事特に出色の者青年の一讀を要す（一冊十一錢東京市芝區愛宕町實業之世界社）

▲輪業畫世界（四月號） 輪業畫趣味を天下に鼓吹せんとするもの程ありて各大家の輪業畫に對する所感面白く特に美くしき繪葉書寫眞版を挿むのみならず文學上裨益を與ふる美文に富む（一冊十錢東京市神田區柳原川岸永井三星堂）

召使れ初 第五十二回

黒蛙師



「御兵衛殿、御兵衛殿」とれ力の聲は驚かりき「私、あなたに御相談ござりまするが」

「私へ……」と御兵衛は御右衛門を云ひ懲らしたる聲を和らげ「什麽の御用どざります」「他ではないがの、些と思ふ仔細もあるが、國尾様今日御殿へ御歸らせの序、れ鷺をお召し伴れ下さることなるまいかの」

「頼つての御所望、悦んでれ召し伴れ申さばまると心得ます」

「さうなれば私も身上の悦び無いがの」とれ力は辯解するやうに、「御右衛門どのれ詞にもれ聞きめさう、佐十郎不身持、武士の風上にも置かれぬで、國尾様れ耳に入つたら、さぞ御不快に思召さうも彼は勘當、同胞には生れてあれぞ、れ鷺とは雪と炭見るほどの相違、れ鷺の心に一點の曇りないは、あなたの御存じあらせられしと心得まする」

「それの御心配御無用でござります、國尾様れ道どのを御所望とござりませ恐れながられ道様に願つたことござりませので、其邊は又私からた腹へ入るやう、委細を言上致すでござります」と御兵衛は満足氣に「さらば、今日から國尾様へた上げなさるでござりまするな」

「下世話にも、善は急げと云ふことあるで、思ひ立つたが吉日、彼方様れ願ひなくば、御同道を願ふ氣、佐五右衛門殿に故障あらう筈なければ、私より味好う申し上げて置かうわの」

「夫は重疊、これは好い事ござります」と御兵衛は飛び立つやうに「あなたさう、仰せられ下されば、私の顔も立ち、れ鷺どの御出世の道もつく、その代り佐十郎様れ身の上は、私引き受け御家名に傷けることと致しませぬ、大船に乗らせた氣で、きつと御安堵ござりませ」

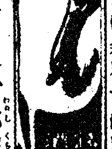
「れ袖にれ縋り申します」とれ力は涙を浮めたり

御兵衛は座を起たんとして御右衛門の其處に立ち居れるに心付き

「れのれまだあるか、れのれ親の心も知らいで道に外れた事為居る、佐十郎様はれ道どの兄御、萬一の事あつては海老屋の暖簾に斑の付くを忘れたか、そなた生涯の事については、國尾様へ滲々とた願ひ申した事もあるを……親の慈悲の光りも見いで、我意我儘に募り居る、乃公が詞を掛けるまで、佐十郎様を自身番の手へ渡すことならぬぞ、正木様のれ恥辱、れ道どの恥辱、續いて海老屋暖簾の恥辱に爲るを忘れてはならぬぞ、そなた優和しう時節を待てば、やがて望みも遂げられる、其事は國尾様御承知、れ胸の底に考ねもあらする氣ちや、心得違ひするな、人間の力で花を咲かすことはならぬ、此方より手は障へぬも、時節が來れば花は咲くに、急くな、急いて事を仕損ずるな、佐十郎様へは私がれ詫びゆる／＼遊茶でも參らせる、丁寧に扱ふおや」と口早に云ひ捨てゝ、國尾の座敷へ驅け行きぬ



御右衛門は父の後を目送りありしが、やがてこの目をた鷺の上に轉して、物も云はず悄め～氣に起ち去りぬ、れ道は漸く顔を擡げて



「れ母様、私兄上を深い淵へ突き落したでござります、私の口一つで什麽様ともれ助けの道あつたでござりませうを、心強う振り捨てゝ、武士を捨てさせたでござります」

「御右衛門心は知れた、そなたの心の底も知れた、歎くには當らぬ、悲しむにも及ばぬ、天道様は正直を御守、せちや、孝行も御守らせおや」

■■拓殖協會を設けよ

阪商書記長件直之助氏談

併合後朝鮮に關する企業心は到る處に勃興し現に吾が大阪商業會議所に對し幷が計劃の材料を得べく照會し來るもの日々數十通の多きを算し殆んど應接に遑あらざるの槪あり然れども之を事實に顧みれば未だ何等事業の發現ありしを聞かず寧ろ意外の現象なりと謂ふ可し並し其大原因は一方に此大勢を阻止する故障の存在せるに因らざるなき乎若し然りとすれば斷乎として之が排除に努めざるべからず而して今回商業會議所聯合會を當地に開催せるに就ては其般の研究も亦有力の大問題に數へられ斯く多數の集合を見るに到れる所以也、然れば折角の此會合をして無意味に終らしめず十二分の効果を收めんとは吾輩一同の熱心希望する所也とす元來朝鮮に關する各般の問題は非常の誤解を以て迎へられつゝあるが如し此の如きは將來の開發上大に妨礙とならずんばあらず思ふに現時の誤解を以て將來を推察すれば渡來者益々增加すべきは疑なし然るに其眞相の傳はらざる爲め一般渡來者を躊躇せしむるに到らば折角の機運をして遂に退步の已むなきに到らしむべし則ち朝鮮の如き廣寬なる沃土に赴かんよりは寧ろ去つて自由の新天地に發展せんと欲するや疑を容れざればなり故に此際之が救濟の第一義として移住內地人聯絡の下に朝鮮開拓協會の如きものを設け一方には實際の事實を調査研究し他方には機關新聞を發行して汎ねく內地各府縣に散布し以て渡來者の手引たらしめ且つ企業家の指針たらしめん事を望む之を聞く人を見て物價を唱へ若くは說明を異にするが如きは朝鮮の現狀なりと斯かる弊風は根本的芟除を計らざるべからず次ぎは言論の自由なり內地及朝鮮に發行する諸新聞にして總督政治を評論し自己に不利益なるものは假借なく押收禁賣するが如きは畢竟輿論の傾向を隱蔽するものにして愚も亦極まれりと謂ふべし如何となれば此巷の政策の爲め相互其眞相を知る能はず併合後の經營をして倍々遲緩せしむるの虞れあればなり且つ渡來者に對しては懇篤に之を歡迎し遺憾なき觀察を遂げしめざるべからず之を言へば予を以て東京に往くも京城に到るも何等遠近の感なきに多くの人は尙ほ外國視しつゝありて非常の面倒に思ひ居れるが如し然れども事實は正さに多數の朝鮮觀をして其無理ならざるを感ぜしめたり現に吾が國土內を往來するに旅券携行を要し檢查を受けざるべからざるが如き事何等不便の感あるや遂に如此は制度其者が既に外國視せしむるに因るものにして極力之が矯正に力むるの要あり元來渡來者は益々多ければ夫れ丈け開發の機運を急速ならしむる所以なれば此點は特に爲政者の一考を煩はさゞるを得ず若し夫れ今後の經營に就ては活動ある吾が國民の努力に待たざるべからず而して併合前に於ては兎ニ角サーベル政治の必要を見たらんも今日に在ては毫も其必要を認めざるなり歷史を繙いて之を研究せよ佛蘭西伊太利の如き殖民人種が其領を失ひたるは那邊に存するか又英國等のアングロサクソン人種が殖民政策上益々功を收めつゝあるは如何の政策に依るか實に會心するを得べし豈に朝鮮に限り此歷史的大教訓を無要視するを得んや特に殖民地の通有として政府の保護獎勵に待たざれば何事も爲し得ざるの弊あり是れ大に戒むべき事柄なりと信ず思ふに眞の經營は獨立不羈の人物に待たざるべからざるを以て彼の浴々たる保護特許會社の如き國家の寄生蟲は宜しく絕滅するの緊切なる所以を茲に絕叫す。尙ほ一個の希望を言へば朝鮮在住者中若干の代議士を推擧し總督政治に干與せしむるに在り以て上述の開拓協會と相待ち相寄りて半島の經營に資せしむれば其效果や決して徒爾ならざるべき也。

[illegible]長平山、松平の兩理事の後勇、岡野所部長を隨へて[illegible]次に松方社長は[illegible]一場の指示を爲して[illegible]歡を盡して九時過ぎ[illegible]

▲岡正矣氏入社

朝鮮總督府鐵道管理局[illegible]岡正矣氏今回休職を命ぜられしが朝鮮瓦斯會社取締役に就任する事に決定せり

▲新潟縣の大火損害

二十三日夜八時半新潟縣[illegible]濱町より出火し[illegible]上町へ延燒し[illegible]家屋約五百戶此の損害約十万圓[illegible]て警察署類燒したるが原因は目下取調中なり

●聯合會日程變更

聯合會日程は主催會議所の同意を得[illegible]しが多數會員中[illegible]式後は自由の行動を[illegible]部の委員會合し[illegible]るものあり依て二十四日夜巴城館に[illegible]

▲二十五日 六部より各三名宛代表者を擧げ大久保軍司令官山縣政務總監を[illegible]王殿下を訪問し[illegible]京城ホテルに[illegible]

▲二十六日 [illegible]下に拜見す而して本會議を開き各所提出案整理の爲め委員付託[illegible]

▲二十七日 早朝より[illegible]後通常會に移し閉會式を擧ぐ

▲二十八日 [illegible]而して二十八日以後は自由行動を[illegible]各部より委員を[illegible]

▲東宮妃殿下御容体

東京電報（廿五日）

東宮妃殿下の御容體は昨日午後六時三十七度に渡らせられたるが御熱は其後次第に昇騰夜中の最高御熱度三十八度三分を示したり之を前夜の最高御熱度に比すれば五分低く御脈搏は百を數へ御安眠少なく今朝六時には三十七度四分に降り給ひしも昨朝に比し三分高く御脈搏百八と云ふ增加の傾向にして御食量其他は總て昨日と御同樣に渡らせらるゝも殆んど一ケ月に渡る御重態なれば御疲勞の程拜察するも至極御健全なるを以て善良なる御經過にあらるゝ由拜承す

●提出諸議案

各所提出議案は二十五日中に取纏めらるべし而して其件數は[illegible]其主なるものは

一、朝鮮輸出稅[illegible]
一、朝鮮勸業博覽會[illegible]出品種目は[illegible]期日及規模は[illegible]
一、[illegible]に交涉せしむる件
一、連絡船賃金引下[illegible]鐵道賃率引下[illegible]
一、日本と北滿州を連絡する航路及鐵道[illegible]
一、穀物輸出稅撤廢[illegible]
一、商業會議所法[illegible]
一、韓國朝鮮各[illegible]
[illegible]決議の件

●豐橋と馬關參列

[illegible]

▲日英博總長轉任

日英博覽會事務局[illegible]事務報告書は本月中に調成し關係當局者に交附する筈なるが其事務總長は同時に他に轉任すべしと

原敬氏渡鮮期

政友會總務原敬氏は來る五月五日頃京出發朝鮮及滿州視察の途に就き往復約二週間の豫定なり

▲赤十字と地方長官

日本赤十字社にては本日午後七時より帝國ホテルに地方長官一同を招待して晩餐會を開き定刻總裁閑院宮載仁親王殿下[illegible]下には松方社長小澤、花房の兩副社[illegible]

●醫師大會日程

[illegible]二、來賓の祝詞[illegible]代表者外國[illegible]三、會則の討議[illegible]役員の選擧 五[illegible]七、[illegible]六時藤田院長[illegible]大懇親會 ▲第三日五月一日[illegible]

▲相場電報（廿五日）

▲京阪間	五八、九	五八、八	一二六、一	一二五、七〇
當限	五八、九〇〇	五八、八〇〇	一二五、五〇〇	一二五、八〇〇
大阪	六六、二〇〇	六五、八〇〇	一二六、九〇〇	一二六、八〇〇
[illegible]	[illegible]	六六、七〇〇	一二六、七〇〇	一二六、六〇〇

▲大阪間 ▲株式 ▲期米 ▲取引 [illegible]

▲大阪正米 [illegible]

塲四月寄廿六圓九十四錢▲止九十二錢 ▲五月寄九十錢▲止前上▲六月寄十七錢 [illegible]

●廿五日 [illegible]四月寄[illegible]

●聯合會發會式

[illegible]會終了の爲め急行を[illegible]作氏を派し氏は二十[illegible]し同氏は西部聯合會[illegible]運賃引下の[illegible]聯合會[illegible]定の如く[illegible]二十分京城ホテルに[illegible]竹を合圖に[illegible]京城商業會議所會[illegible]して一應の挨拶を述[illegible]所會頭中野武營氏起[illegible]聯合會の下に全國商業會議所聯合會發會式を擧ぐるに方り[illegible]の意を表せざるべからず[illegible]議所に對して[illegible]の決議に基き併合後京城に全國の聯合會を開き內地各會議所に對し非常の熱心を以て[illegible]豫期以上盛況の下に[illegible]を得るは大に感謝[illegible]其會務を京城に擧げ[illegible]光榮として深く銘謝す就ては此會合をして[illegible]効果を收めしめたく[illegible]議所を代表し一言[illegible]

[illegible]議所にては廿四日午後三時半より民團上に於て委員會を開き右歡迎準備をなすため會議所議員一同之れが委員となり萬事奔走する事を決議し同五時散會せり

●北陸人代表員歡迎

當地在住の福井、石川、富山の三縣人は今回商議聯合會に出席のため入京したる富山高岡、金澤、福井の各代表者を招き廿七日午後六時より翠雲亭にて歡迎會を開く由なり

●定例長官會議

二十五日午前十一時より總督府に於て定例長官會議を開き山縣政務總監を始め倉富、石塚、木內、荒井、大屋、池田、宇佐美、小松の各長官、明石警務總長、依田鐵道局長列席政務の打合せをなし午後一時散會す

▲人さま〲▼（其十二）

山口太兵衛君

京城商業會議所會頭山口太兵衛君は薩摩國は薩摩郡隈之城村向田二百十六番戶太郎右衛門君の長男だ一寸耳順の一老翁に見ゆるが驚く勿れ慶應二年九月二日の出生で四十七歲の入白下である九州で云ふと丁度征夷大將軍賴朝公と同じだから偉らい、赤手空拳を以て渡來し兎に角今日の成功を贏ち得たのは正さに立志傳中の一人物であらふ、君は頗る付きの世話好で統監時代に於て居留地の爲めに盡くせる功勞は何人も認むる大事實だ、公共問題といへば無我夢中になつて働く處自分ながら好きでなければ出來ないと言つて居る、碁が嗜きだが下手の橫好きに洩れず始めたら親の死むだのも忘れる方だ、將棊の方も同樣、但し互の方では相手を撰ます、必ず參謀を占める資格がある。

●事業公債と韓銀

本年度に於ける朝鮮總督府が募集する事業公債は五千六百万圓の內一千二百萬圓なるが此金は當分の內需用に從つて韓國銀行より總督府に貸上ぐる筈なりと

●恩賜公債現金引替

朝鮮貴族其他に下賜されたる恩賜公債は賣買讓與及質入書入を禁止せしため種々の弊害を醸成しつゝありしか總督府は近來現金の引替を寬大にせしため韓國銀行にては總督の認可したるものに對し買入れたる金高既に二百萬圓以上に達せしと云ふ

仁川築港起工式

五月下旬ならん……仁川築港起工式に就ては市民一般千秋の思ひをなし待望しつゝあり既に中央料理店の如きは同祝賀會に參列すべき藝妓衣裳及花車太鼓等の準備を整へ居る由にて又市中の景氣も昨今大に引立ち日々活氣を增しをる狀況なれば其筋にても起工祝賀の方法研究中にて寺內總督の歸任次第總督の意見を聞きたる上にて擧行する事に決しをる由なれば何れ五月下旬ならむと云ふ

●高級醫官會議

二十六日午前十時より龍山軍司令部に於て高級醫官會議を開く筈にて目下議案の整理中なるが會期は二十六、二十七日の二日間なりと云ふ

●韓銀支店長會議

韓國銀行の支店長會議は來月十日より同行本店に於て開催の筈にて約十五ケ所の支店及出張所長參列の筈なり

●農工銀行會議

度支部所管の農工銀行會議は來月五日より開會の筈なり

●聯合會員歡迎

[illegible]來る五月四日[illegible]の全國商業會議所聯合會員歡迎の爲め仁川商業會議所[illegible]

●滿鮮醫師大會

既報の如く滿鮮醫師大會は愈々來る二十九日より總督府醫院に於て開會すべく[illegible]醫院長を始め當地有志間に於て奔走中なりしが意外の好成績にて今日[illegible]

●南朝鮮の漁季

靈光、木浦、濟州、長興、康津、海南方面は漸く漁季に入りたるため內地より來る漁船九百余に上り猶續々增加する模樣なり

●朝鮮群書の出版

當地旭町朝鮮雜誌社發行の朝鮮古書刊行會に於ては朝鮮群書大系第十八輯として本月は大東野乘第十三卷を出版し其々豫約者に配本しつゝあり

●京畿管下金融組合

各道樞要の地方に金融組合を新設し來五月初旬より事業を開始すべきよしは曾て報道せし所なるが同組合は全道二十箇所の豫定にて京畿道觀察管下には五箇所新設の事と內定せるも其地方民に就ては府尹郡守、郡書記、地方の有力家等より一箇所十名づつを府郡より推薦し度支部長官若くは道長官に於て任命すべき事となり右決定次第役員會を開き定款其他を議決し認可を得たる後にて始めて事業を開始すべき手筈となり居れば到底來五月初旬には開業の運びに到[illegible]

らず多分六月初旬ならんと會議所より[illegible]其資金は一万圓にして還は總督府より下附さるべきものなりと

●砂金回着の減少

咸鏡道方面は從來砂金の產地にして元山に回着するもの頗る多額なりしが先年鑛業法制定されてより同地方在住の鮮人には各地に於て自由に採取出來ざる事となりしより砂金の元山に回着するもの昨今非常に減少し同地の商勢にも影響少からざるを以て何等か砂金採取に關し便宜の方法を講したしと農商工部へ請願したる所鑛業法の改正を要すべき大問題なるを以て當局に於ても苦慮し居れりとのことなり

●金融理事會議

來廿七、廿八の兩日京畿道廳に於て金融組合設立に關する理事會議を開會する筈、理事は十二名なり

●齋藤大佐の訪問

元山憲兵派出所長陸軍步兵大佐齋藤季次郎氏は二十五日午前十時總督府に山縣政務總監を訪問したり

●京商書記長決定

缺員中なりし京城商業會議所書記長は山口精氏就任することに決定したりといふ

●濱口監事來京期

韓國銀行監事濱口吉右衛門氏は近々來京の筈なり

●大邱學生の仁川觀察

大邱小學校生徒及職員其他附添人共九十三名の一行は廿五日午後一時四十六分仁川驛に着し仁川小學校職員及民團よりは岡本書記等之れを出迎へ一行は市內を遊覽の後小學校雨天体操場に於て茶菓の饗應あり夫れより東本願寺に至り暫時休憩の上午後十時三分仁川發列車にて歸郊の途に就けり

公人私人

▲牧野平五郎氏（代議士） 二十四日入京不知火へ
▲齋藤季次郎氏（陸軍大佐） 二十四日入京巴城館へ
▲大西英雄氏（陸軍二等主計） 二十四日入京山本へ
▲目沖喜之助氏（陸軍二等主計） 二十四日入京肩金へ
▲竹山屯氏（醫師）廿四日入京不知火へ
▲釜山商業會議所●頭五島甚吉氏、副●頭坂田文吉氏、書記森田福太郎氏二十四日巴城館へ投宿、大邱商業會議所書記長小宮遠次氏二十四日入京巴城館へ投宿

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 廿四日の分
乘車客 五五九 下車客 五四六
乘車賃金 一、〇五九、四一

▲南大門驛荷扱高 廿四日の分
發送 四〇噸 到着 四五四噸
貨物賃金 八四〇、〇九

▲龍山驛乘降客 廿四日の分
乘車客 一八〇 下車客 一六四
乘車賃金 一九三、八四

▲龍山驛荷扱高 廿四日の分
發送 一噸 到着 二五三噸
貨物賃金 三、四九

▲仁川港の出入船舶▼

▲[illegible]東丸 廿六日大阪より入港
▲[illegible]丸 同
▲[illegible]吉丸 同 大阪へ向出帆
▲[illegible]東丸 同

▲京城手形交換高▼

	枚數	金高
四月廿五日	五〇七	九九、四一〇、六八

▲治外法權▼

七十有五名の聯合會出席、內地各商議の代表員は釜山から借切りの特別列車で南大門へ着いた、扨て途中は列車食堂に於ける各員の氣焰、特に半島の經營に關する各員の意見は僅かに價値があつた▲由來內地よりの觀察者は半島の事と云へば十把一束見るの癖があるので少しも眞面目でない、假令は鐵道に付ても、而るに今度の聯合會代表員は揃つて內地のソレに比して優れる點は大に賞揚し、其營業上劣れる點は大に攻擊すると云ふ風だ▲代表員口を揃へて曰く、半島の鐵道が半島開發の爲に作られたるものなることは今更言を要せんやだ、而るに何ぞ現在の貨率を見ると、ドウも千二百萬の鮮人を度外視して作られてる樣だ、折角鐵道が在つても鮮人が乘らぬ樣ではダメだ、之はドウしても聯合會の問題だと▲會社令に關しては巽口野翁に其不法を鳴らした、新領土の今日の如く甲胄鎧で縛られ居る樣では產業の發達は迚も望めぬ、否なアゾナカシくて自分も投資を躊躇すると同時に他人に投資を勸める譯にも行かぬ、之も聯合會の問題だと▲何ソレからソレと話を進める間に汽車は水原を通つた、代表員中の一人曰く水原には理人的博士が居て勸業模範場の世話をして居ると聞いたがホントかと、理人的博士とは本田の事だ、彼れの牧々的努力は今や何人にも知れ渡るに至つた▲南大門驛へ着くと代表員一同は、同停車場が釜山のソレに比して、見すぼらしいのに驚た樣だ、ソウして巽口翁は改築の必要を叫んだ▲出迎者に對して一行中の水戸會議所●頭塚七平曰く我々は觀光團では御座らぬ、ナレば何分其れ積に願ふと、以て一行の抱負を察すべしだ▲寺內總督が勅裁を經ずして大廟に臨時事告祭を行はんとして顯官に止められたと云ふことが問題になつたが、ドウも氣の毒の事だ、由來伊勢には敎育擔の例もある、寺內が顯官の頑固を咎めずして引下がつたのは寧ろ賞むべきことだ▲聞く總督は來月中旬歸任するさ、夫れに付き警護の任に當るべき憲兵選登選は大喜びだ、曰く總督閣下にして歸任して五はい又新二[illegible]五厘の[illegible]を●務とせずして濟くことが出來るどね。



東京藝妓の半生（九）
清華亭　今奴

其の山本と云ふ男、道樂湯な便合は成し舐る附きのチン／＼親で心から何とか思はうと努めて試たが義理にも何とも思へないと云ふ甚だ損な生れ性、全体女なぞに手を出すと云ふのが心得違ひなのだがエテシテ左樣云ふ男に限り却つて不意見を起すものだ、我輩されたれば叔の奴、抱妓の三人も置いて繰起棚の下は長火鉢の前に鼈甲羅宇の長煙管に樽井の煙を輪に吹いて居れば夫れで宜いと云ふ結構な身分ながら何分其のチン／＼が堪らない火鉢を間に差し向つて居ず見ても頭痛がすると云ふ始末、お湯の時間が長くつても何とか彼とか氣を回して結句の果は打つ蹴るの大亂暴不貞寢と出れば心配して醫師を呼ぶやら按摩を呼ぶやらの御親切勿体ないか却つて夫れが染々厭になる、自暴から他男の袖褄を曳いて試るけど何分山本が恐だから叔は食ひたいが生命までは惜しいで殘念ながら折角ながらと引き退る、機會があつたら逃げよう／＼と思つて居たが機會がなく、厭だ／＼で夫れでも滿二年半斗りを辛棒した二十三の秋山本が相場で以て一萬圓程を耗つて二進も三進も行かなくなつたので此所等が大抵見切時と出來ぬからしてせぬ浮氣に金錢の費ひ途のなかつた二年半に誰れらも知せず貯へた二千餘圓を束にして親方が戻つたら此れを渡して呉れよと手紙を添へて抱妓に預けて古河の實家へ行つて來ると云ひ置いて山本が金策に奔走してる隙を覗つて左樣ならを極め東京へ突つ走つたが是れと云ふ名案もない所から未だ自分が叔時代二三度座敷を勤めた事のある京橋は三十間堀邊に住居と云ふ米穀商の野村安兵衛と云ふ人のあることを思ひ出し新橋の金六亭から電話帳を手頼つて呼び出しを掛けると恰度都合の好いことには野村の方でも未だ叔の奴を忘れずに居つた「モ少し仕たら行くから甘味い物でも食つて待つて〻呉れ」と親身しい言葉にホット一息安心したので出た疲れ實に覺れてウト／＼と凡ノ五十分も眠つた時野村はヤア久し振りだ何うしたい、噂に聞きやア何んだつておやねいか、此の頃ぢやアゆウ全然可愛男に心中立て長にも肌を許さねいつてね然安からねねの幣ぢやアねいか、オイ羨ましいぜ、喫べて惡い御馳走なら頭から見ねね方が善い相だが、見る丈けも得だらう、と釣り出された、ヤ自分ながら意地の汚なさに白人一晋呆れ田ウウ眺ぐと華やかに笑つて無手と座るのを座を退つてチツと見上げた若奴のれは「た恥しう御座いますの、假りにも左樣言ふ甲斐性ものならた馴染の情い旦那樣、電話なんぞで失禮な呼出しなんぞは掛けませんワ、然う頭からられ冷師なるらずと此所迄た出向下さつた御親切序に斯う成つた成り行きを聞いて力に成つて頂き度いの」若奴のアノ眼に睨まれて野村安兵衛の造作に二階から落た生豆腐崩れたく滅茶メチャ（次回完）

●藝妓の足拔き　原籍愛知縣名古屋市中區白川町一丁目百四十一現住所同市中區老松町藝妓置屋梅月事堀切むめ方抱藝妓たろく事木村れろく（二三）は本月八日平素の如く花に呼ばれたる先より其儘歸宅せぬより梅月にては諸所搜査せしも見當らず本月中旬に至り同町西區本重町二林產三郎（三二）と互に手を取り仁川方面へ高飛せし形跡あるより搜查方仁川署に願出たるが右の男は土地に於て四萬圓程の負債ある由なるが原因は右のれろくと深い交情となり不義の借債が嵩して首が廻らぬ破目に陷りしより共に行衞を晦ませしなるべしとは虫の好い和郎なり

●貨幣僞造犯人逮捕　京畿道龍仁郡上梀面の李寒景及京城北部の黃士觀は江原道洪川郡に於て僞造銀貨二十錢二十六個十錢二十五個五十錢三百七十一個を所持せるを發見せられ逮捕せられたり彼等は本年二月李寒景方に於て眞鍮磨粉にて模型を作り白銅を溶して形を作り水銀を塗りて二十錢五十個十錢百個五十錢七百六十個を僞造し京城地方にて使用したる殘錢を所持したるものなりといふ

●殺鼠船事件不起訴　廿二日仁川稅關の殺鼠船が支那戎克に潜伏せる二人を窒息死に至らしめたる椿事は當時志水檢事及支那領事館仁川警察署長等出張立會の上檢視したるは己報の通りなるが其後志水檢事の手にて取調中なりしが同死者は同船内に自ら潜伏し居たる事迄問題とならず直に解決せり

●仁川稅關殺鼠船取締　廿二日仁川稅關の殺鼠船が支那戎克に向て一大椿事を演せしより二千五日明石防疫委員長より宮本支部長に宛て通牒せられたるは今後臨時防疫委員會仁川支部に於て防疫の爲め殺鼠船使用の際は警部又は巡査を派遣し立會の上施行すべしとなり

一女振り（八）

久水仁川府尹長女　久水歌子

原籍は東京キの知れないと云う麻布區今川町三十九番地とある、た父さんの三郎君は隨分方々へ轉任したものだ、現に朝鮮でも大邱、元山から今の仁川と云ふ風に變つて居る、而して歌子さんは常に同行されるのだ、久水君が米國シヤートルに居られた時の如きた母さんと共に交際社會で厚遇たものである、お年は當年二十四だ、目下某大學に在つて勉强中の某君とて親と親とが許した良人がれ在んなさるのだ本年卒業次第擧婚さるゝのだが採られ待遠ひ事だらうと想察する次第である、家事裁縫等總て母樣の御指南に依つてれ巧手だ、其の英語と來たら巧いもので從つて外人の接待等實に手に入つたものである、一つは外國に居られたからでもあらうが、一は天禀だ嚴父三郎君曾つて阿弗利加に遊ぶや歌子孃の爲に金剛石をウント買込んで戾つた、だから歌子さんは日本一の金剛石大盡である、ダンスがた得意で或る園遊會席上では演劇も演られた事がある相である。次は

荒木捨作君長女　荒木かつ子

●釜山輕鐵の失火　二十五日午前四時釜山鎭の輕便鐵道會社の倉庫四棟及客車機關車共燒失し之がため釜山鎭東萊間の運輸杜絕せり原因は目下取調中

●姦婦姦夫を慕ふ　仁川多所面長州里方璽充は本年二月廿八日松嶼洞四十統七戶趙致法の妻東召史（三九）と好い交情となし東を誘拐し自分の家へ連來り痴話狂て居たるを趙は必死と成て東の行衛を搜査し廿三日前記方の許に潜伏し居るを聞知し其筋へ取戾方願出しより仁川署の巡査命細文が出張本署に引致し本夫に引渡さんとせしに東は何どしても本夫を嫌ひ歸られぬと云ふより警察にても持て餘し居るとは聞くも苦々し

●ホントウの馬鹿　仁川濱町鷲番組仲仕飮食常次郎（三二）は廿四日午後六時十分仁川府內西外洞通り鮮人飮食店の店頭に向て放尿し其尿沫は點々として店舖の軒下を汚したれば居合せたる鮮人三名にて之を制止するも聞かず反て理屈を唱へ腕動を張り爭論が挑み居たる處を折から巡回の佐藤巡査に現認せられ告發せられたり

●時計を盜まれた　仁川花房町二丁目山崎政一郎は去廿一日仁川稅關埋立地東側に繫留せる鄕平船朝日丸の船室棚の上に置きし銀側懷中時計一個代十圓六十錢を竊取せられ屆出づ

●商品陳列場公開　漢城美術品製作工場は從來縱覽を謝絕し居りしが今回同製作品の陳列場を新設せるより何人を問はず隨時縱覽を許す事とせり

●橫領雇人の所刑　本町一丁目十二番地平尾方居留雜貨商淺井郡竹生村大字弓削生れ森雄禹一（二六）は昨年九月より仁川濱町二丁目十八番地酒造業大森實太郎方に雇れ中開年十一月より本年一月二十四日迄の間に於て數回に取立たる賣掛代金六十七圓八十錢を擅橫消費したる事發覺京城地方裁判所に於て懲役四ケ月に處せらる

●減刑　熊本縣人當時吉野町一丁目森島市彌太は本年一月中知人なる齊披町居住矢野れひが寡婦なるを奇貨として名を貸借に藉り金七十五圓を騙取したる事西部署に探知され檢事局に送られしが第一審裁判所に於て懲役六箇月に處せられ不服控訴せしが今回京城控訴院に於て前判決を取消し懲役四箇月に處せらる

●演藝だより

●壽座　好評なる浪花節京山若丸一行廿六日の讀物は建久曾我物語（若吉）天龍川大仇討（若秀）赤穗義士傳（夏綠）梁川庄八傳（圓若）櫻川五郎藏（圓奴）尚若丸の讀物として以前「伊藤公の半生」切「川崎工學士」なるが川崎工學士の筋と云ふは主人公なる川崎健次郎が墮落の深淵に身を沈めしを實姊れ霙が愛想を盡かし遂に健次郎を絞殺せしも健次郎は警官の爲め蘇生せしより前非を悔悟し作行を改悛し一意專心苦學の結果工學士の肩書を得る迄の立志談裏に壯絕なり

●蓼仙人の仙術の理法
余の視たる片田源七翁の實驗に就て（六）

瀬田山水

既に實驗鐵にも掲げ置きたるが、蓼仙人の實驗に於て、第二擲技ハ燒けたる鐵棒シコギと、第六の熱湯探り第七の火渡りは、形式に多少の相違はあれど內容に於ては殆んど相似たるものなるを以て、茲に一括して批評を試みよう

第二實驗　●燒けたる鐵棒シコギ
第六實驗　●熱湯探り
第七實驗　●火渡り

第二實驗の燒けたる鐵棒シコギは、約二尺四五寸位の拇指より稍々大なる鐵棒の一端一尺餘りを火中に挿入し、眞赤に燒くるを持て取り出し、燒けざる一端を片手に握り、燒けたる部分を他の一方の掌を以てシゴクので、左右共交々二回づゝ是を行ひ、シゴキ終つて其の掌面の黑く爛り、宛も燒けたるが如きを觀衆に示し置き、やがて、傍らに沸々と煮立てる鐵瓶より、僅かに一盞の熱湯を掌に受けて是を洗へば、掌面の黑き部分は直ちに消滅して何等の異狀もない、是に就いて蓼仙人は、如何なる負傷も熱湯を以て一洗すれば即坐に癒ると言つて居る、成程黑き部分は一消した、掌面にも何等の異狀がない然らば果して熱湯の一洗に依つて掌面の焦げが癒つたのか、既に焦げたものとすれば火傷であらう、火傷が熱湯を以つて洗つただけで癒るかどうか、是を事實とすれば蓼仙人の体質は、少なくとも今日の解剖學生理學病理學上の定則理論、即ち一般の醫學的智識を以て解釋し難き、特種の組織に出來上つて居るものと言はねばならぬ。

果して然らば吾人と同一の人間として現代に生存せる片田源七の一蓼仙人は、吾人が數百千年の長日月の間に於て、幾千万の多數の人の身体に就いてあらゆる經驗と研究とに依つて得たる現代醫學上の原則を否定する一大事實を示したものと言はねばなるまい、こは實に容易ならぬ問題ではあるまいか併し直ちに斯く斷定するは聊か早計と言はねばならぬ、吾人は問題を此に展開せしむる以前に於て、先づ掌面の黑くして焦げたるが如く認めらるゝものに就て、果して夫れが焦げたるものなるか燒けたるものなるか、或は單に黑きが故に焦げたる如く燒けたるが如く見做さるゝにあらざるかを確める必要があるのである。

是に就いて余の見る處を以てすれば、掌面の黑くして一見焦げたるが如きは焦げ又は燒けたる物質的變化あるにあらずして、灼熱してる鐵棒に當然起るべき化學的作用に依つて、燒けたる鐵棒の表層に生ずる鐵銹即ち俗に云ふカナクソが、急激なる熱の刺擊に依つて分泌されたる掌面の皮脂に附着したるものに相違なく、隨つて掌面に焦げ又は燒けの物質的變化あるにあらざるものと思惟される、されば熱湯で探くども水で洗つても乃至湯で洗つても、蓼仙人が熱湯で洗つて消へるのは當然で、焦げ又は燒けの物質的變化が癒ると云ふ樣な標榜は、余としては全然首肯する能はざる處である。果して然らば眞赤に燒けた鐵棒を手で握いても熱くないのか焦げぬのか、焦げないとすれば何ぜ焦げぬ、燒けない迄も熱くはあるまい筈、其熱いのをせよしてシゴけるの理由は次號に（つゞく）

▲第一日四月二十九日　午前九時開會　總督府諮詢案大議室開會　委員長藤田嗣章氏
▲第二日四月三十日　開會午前八時三十分討論及演說午後
昌慶宮、衞生試驗所、順化病院、總督官邸、丘營等を巡覽すべし

▲神戶　電鐵引　（昨日後場）　三三、四〇　三三、四〇　三三、三〇
▲東京　株　一〇六、五〇　一〇四、八〇　一〇六、一〇〇　一〇七、四〇

▲大阪期米　●廿四日前場四月止十六圓九十錢▲五　月止十七圓七錢▲後
▲仁川米豆取引　●廿四日後場四五月出來不申六月物

諸公債諸株券現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業 ……
京城本町三丁目
大阪野村銀七代理店
田中友吉商店

千葉縣銚子町
醸造元 岩崎重次郎
登録商標
最上醤油
山十
京城本町壹丁目
發賣元 三巳商會
電話七五三番

見よ數百萬の難病者を全治せしめたる
サンデン電氣帶
サンデン博士之像

全治病名 神經衰弱、不眠症、記憶力減退、脳病、中風、手足の痺れ、其他
定價 和装品
三號附屬共金八圓 五圓
四號同 金拾五圓 金七圓
五號同 金貳拾圓 金九圓
六號賣 金三拾五圓 金拾圓
七號同 金三拾圓 金拾參圓
アクチナ
腦耳鼻咽喉頭痛船暈ニ奇功アリ

探見電燈
●本電燈は他に比類なき新案特許品なり
●取次販賣御希望の向へは特々御相談可仕候
電燈機械一式直輸入元
本店（東京市京橋區尾張町二丁目銀座通東側）
支店（横濱市吉田町一丁目廿九）
サンデン電氣商會

淺田飴
たんせきに苦しむ人の常によき好伴侶!
東京 大阪 堀内
京城南大門通
新井藥房
電話一〇六八番
振替口座韓國九〇四番 十六番

鰊精（こうせい）
村井医學博士……
三
京城本町三丁目
龜屋商店
電話二十七番
振替……二十七番

神經をおづめ腦病を全治す
藤村醫學博士の有効證明を得たる健腦丸は腦病を引下げ、便通を心能し、逆上中風卒中を未發に防ぎ恐るべき腦充血を全治す
腦病全治新藥
健腦丸
記憶力悪き人 頭痛する人 神經衰弱にて氣分鬱ぐ人 常に腦神經を勞する人の必用藥は獨り本劑のみ也
本舗 大阪……
分店 ……
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九百四番 千六十八番
振替口座京城 十六番


田中 目藥
代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房
電話九〇四番 一〇六八
振替口座京城 十六番

庭造請負業
庭造又は御手入等の御用向有之候節は御一報次第御伺ひ廉價御需に應し可申候
尚ほ庭石、庭木の培養所（二ケ所）有り御入用の際は御一覽を希ふ
大和町二丁目二百八十一番戸
園藝師 大舘龜吉
電話二三五五番

移轉廣告
各位御得意様の御引立に預り營業日々隆盛に相趣候段難有奉鳴謝候然るに從來の營業所にては甚た狹隘に有之且前通り道幅狹き爲め通行の防害と相成往々危險も有之候により業務擴張と同時に本店を南山町三丁目へ左の目的を以て移轉仕り候間何卒倍舊御引立の程奉希願候
一、本店へは人力車二百輛を備附電話の御注文次第專ら叮嚀迅速を以て御用辨可仕候
一、御得意様の御便利を計り出張所を十數ケ所に相設け御遠方の御得意様へも遺憾なく御用迅速に相辨度候
本店 南山町三丁目（電話四〇番）
出張所
明町龜屋横 電話一七九五番
本町三丁目（森安商店前）
大和町三丁目 電話九四八番
大和町一 電話一六〇八番
南大門驛構内 電話七三三番
光化門東拓舍宅横
光化門通信局横
總督府正門前 電話二七七番（總督府御專用）
總督府登縁所前（登縁、土地、取調局御用）
伊藤組主 伊藤友松

歐米各國
直輸入
建築材料
和洋 建築用金物各種
▲戸錠類 ▲各種引戸車 ▲蝶番類 ▲其他室内金具
▲戸手類 ▲自働窓框止 ▲鋼鐵蛇腹 ▲鋼鐵中心飾
新瓣 鋼鐵打出天井板
東京 藤原支店
京城永樂町二丁目
電話一八九番

●御注意! 當店は藤原商會に無御座候

文房具
和洋紙
測量器械
シノサキ本店
京城本町一丁目郵便局前
並買次營業申候
電話六四八番
振替朝鮮一五四番

花柳病並痔疾專門
新驅梅藥六〇六號注射應需
京城相生町（南門湯横）電話一二九四
院長 醫學得業士 盧田耕平
京城梅毒病院

土地建物鑛山株券賣買
一、各道鍍地山林未墾地の賣物あり
一、京城南部に四千七百餘坪の物賣あり
一、京城市内に店舗住宅の賣物數多あり
一、金銀銅鐵鑛山賣物あり
小林藤商店
一、確實なる擔保を以て資金の融用す
一、年利一割二歩以上
一、公債株券多少に不拘買入申候
一、土地家屋管理依頼に應じ申候
京城明治町三丁目
電話六五五番

純良消毒牛乳
京城壽町
岡野牧場
電話千六十九番

梅毒根治の確効ある新藥六〇六號を左の規定に依り治療を施行す
一、治療せんとする者は先づ病毒の有無輕重を驗診（ワッセルマン反應）し之に依て新藥を注射す
一、新藥注射後更に病毒有無の驗診（ワッセルマン反應）を行ひ根治したるを確認して注射を終る
一、本治療は極めて秘密に行ふを以て希望者は本人若くは書状を以て河野醫師に内報すること
本町四丁目
（電話二四番）
贊化病院

りん病患者に警告す
サンタールが淋病に特効ある事は今や滿天下の認識する處となれり而かも本劑は初より花大誇張の廣告を爲さず獨り其卓拔なる藥効に倚頼して一般の信用を博するに至れるは弊店の誇とする處なり
抑も淋病の如き疾患は其藥効の良否と恰も外科醫手術の巧拙と巧しく患者自身に於て直に輕快を自覺することを得ると否とに由り容易に判斷することを得るを以て何人と雖も之を欺くに由なし而も市上淋病の特効藥と稱するもの枚擧に遑あらずと雖も獨りサンタールが其名聲を擅にする所以は
登録商標 りん病
複方 大學病院方劑 サンタール SANTAHL
其優越なる藥効が幾多淋病藥中一頭地を抜くものあるが爲めに外ならず
●本品獨特の長所
本品は内服して一種の化學的變化を起し强度の防腐殺菌液となり尿と共に排泄せられ自然の洗滌法となるを以て淋病菌を其根底より驅逐するにはサンタールの外又良藥なし
藥價 惡性病疾用特製分三圓五十錢 急性用三週分一圓八十錢、輕症用二週分一圓二十五錢、一週分六十五錢、小包郵送
京都市二條柳木屋町振替大阪三三四番
本家 藥學得業士 濱田北辰堂藥局
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九〇四、一〇六八
振替口座京城 十六番

義齒術一般
京城明治町一丁目（舊、村賀店跡）
榊齒術所
電話は（六六九番）へ

資本金五百萬圓
神戸海上運送火災保險株式會社
出張所 京城明治町一丁目
（電話一五四九）

仁丹


朝鮮代理店
京城南大門通三
新井……

龍山櫻町百十一番戸
主任醫 村田象一
整骨專門治療院
毎日午後二時より五時迄出張
但し先代よりの家傳と當時の治術とを斟酌し如何様の折骨難患も之を治療せしむ
先代の門弟 助手 中野伊之七

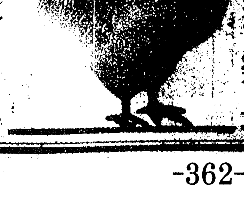
世帶道具は何でも有り升
外に宅ノ酪酒手ヨリ白米和洋ローソク上白シメ油(高)醬油ハ特約品
右品質上等直段下等大勉强販賣仕候間續々御用命奉願上候
宮内省御用
御用御問屋
京城本町六丁目
西﨑嘉七本店
電話百十番 電話（二カ）又ニ
振替貯金口座京城七番

尾洲半田
中埜本家
清酢
特約販賣
仁川京城
髙雄支店

神易〇九星方位
京城南米倉町和樂園下
一心堂

瓦斯コークス販賣
京城黄金町高等演藝館隣
酒井組
電話一二四九番

入院 隨意
内科 外科 小兒病
梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
電話（二二六）
院長 陸軍軍醫正 高井貞治


●白毛冠黒色ポーランド
●ノーモルガン系黒ミノルカ
●スミス系横斑プリモースロック
●クック系黒色オーピントン
●フエリッチ系銀色ワイヤンドット
●新輸入ウーダン
右種禽種卵御希望の方には分讓す
仁川山根町
韓國銀行舍宅下
養雞場

芙江 公州 間定期出帆廣告
芙江發毎日後一時四十分公州着後六時
公州發毎日前七時芙江着後四時平船内
御客様の娛樂用として新聞雜誌碁將棋盤雲の備付あり
京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

キ
四月中 汽船出帆廣告
商州行 海利丸 廿七日、廿九日
安來丸 合七日 日、廿九日
漢津方里浦電串行 千葉丸 三省丸 廿七日、廿九日
濟州島行 三省丸 廿九日
千葉丸 日
合資會社 仁川本町四丁目
秋田商會船舶部